Editer/Librarian Software for J-Station

J-EDIT

J-Edit - JCM900 with Hall*	
Eile Edit View Utility MIDI Window Help	
🗄 🖺 🛎 🖕 🖬 🗈 🌰 ங 🖻 👹 🎯 "F 🚾 👠 🕼 😡	
🕒 J-Station User Bunk 🔲 🖉 JCM900 with Hall*	
0-1 JCM900 with Hall	
0-2 Classic Blackface	
0-3 9 Boutique Delay	
1-1 Mr Js Crunch	
1-2 Wide Acoustic AMP MODELS 7.7 7.3 7.2 7.0 8.3 WAH/EXPRESSION	
1-3 Sectifier March J Crunch I Torong Territory 127	
2-1 Rotary Tweed Model Type	7
2-2 Voxy GAIN TREBLE MID BASS LEVELS	3
2-3 Chick Stack Solo	
3-1 PRockabilly Chous V WAH EXP	
3-2 Hiwatt with Delay	1
4-1 Modern Bass	- 40
4-2 Finvelope Bass 2099 S 20 % 57 CARTINE 1	
4-3 Prock Bass Delay Digital	
5-1 Mike's Tone	
5-2 Cota Slam	
5-3 Johnson Tremolo REVERB 99 99 0 14	
6-3 Synth Guitar Swell	-
7-1 Booge MKII	
I-2 y Wide Solo → Comp → Wah → MODEL → BATE → EFFECT → DELAY → REVERB → CAB →	
7-3 PROUNTIC WITH Delay	
Ready Li DU	1 //







FERNPINES Johnson 日本総発売元 株式会社フェルナンデス 輸入機器事業部 東京:〒161-0033 東京都新宿区下落 2-14-26 TEL&FAX:03-3950-8013 大阪: 〒 531-0071 大阪府大阪市北区中津 6-9-9 TEL:06-6458-2245(代)

目次:

Johnson J-Edit 概略:	
J-Edit のインストール:4 MIDI 関連のセッティング:5	
J-Editの起動:6 ファームウェアのアップデート:6	
バンク・ウィンドウについて: 8 バンク・ウィンドウからのプリセット呼び出し: 8 バンク・ウィンドウの右クリック・オプション: 9 パンク・ウィンドウでのプリセットの並べ替え: 9 新規パンク (パーチャル・パンク)の作成: 9 パンク・ウィンドウ間のプリセット・コピー: 10 パーチャル・パンクの保存: 10 パーチャル・パンクの保存: 10 パーチャル・パンクの保存: 11 プリセット・ウィンドウ 11 エディット・ウィンドウの 11 エディット・ウィンドウの 11 エディット・ウィンドウの 11 エディット・ウィンドウの 11 エディット・ウィンドウの 12 プリセットの保存: 12 ツール・バー・アイコンの機能について: 13	
ステイタス・バーの機能について:13 J-Edit のメニュー:	
New Bank 14 New Preset 14 Open 14 Open 14 Close 14 Load Bank from J-Station 14 Store Bank to J-Station 14 Store Preset to Bank 14 Save 14 Save As 14 Comments 14 Recent Files 14 Edit $\mathcal{X} = \underline{z} - \vdots$ 14 Copy 14 Paste 14 View $\mathcal{X} = \underline{z} - \vdots$ 15 Toolbar 15 Status Bar 15 Utility $\mathcal{X} = \underline{z} - \vdots$ 15 Olobal Cabinet Emulation 15 Digital Dry-Track 15 Adjust Digital Boost 15 Stereo Output 15 MIDI Merge 15	£

MIDIメニュー:	15
Resync with J-Station	15
Setthing	15
Auto Detect Feature	15
Window メニュー:	15
Tile Horizontally	15
Tile Vertically	15
Opened Window	15
Help メニュー:	
Help Topics	16
About J-Edit	
Bank Window Context $\prec = _\$:	
Edit Preset	
Store Preset to Bank	
Export Preset	16
Import Preset	16
Сору	16
Paste	16
Bank Comments	16
Preset Comments	16
Rename Preset	16
Edit Window Context $\checkmark = _ \ :$	
Store to Bank	16
Save	16
Save As	16
Comments	
その他 :	17
LStation 側からの操作に関して(2の付いたアイ	コン)・
John By John Field C (10) 11/1/1	17
シグナル・フロー・ダイアグラム:	17
オプション·フットコントローラー"I-8"のセッ	ティング
について:	
MIDI 環境の手動設定について:	
最新情報の取得:	
http://www.johnson-amp.com	
http://www.fernandes.co.jp	
お問い合わせ先:	
J-Edit ウィンドウ構成	

Johnson J-Edit 概略:

J-Editは Johnson J-Station 専用のパワフルなエディター、ライブラリアン、そしてコントローラー・ソフト ウェアです。このエディターは J-Station パラメーターへの素早くそして簡単なアクセスを与え、プリセット およびパンクのための自由度の高いエディット方式を提供します。J-Editでは J-Station に対して以下の操作 が可能です。

- プリセットの新規作成、編集、保存、復帰、入れ換え。
- バンクの新規作成、編集、保存、復帰、入れ換え。
- プリセットおよびバンクへのネーミングとコメントの付加。
- ユーティリティー・セッティングの変更。

J-Edit は、パーソナル・コンピューター(以下 PC)上で動作するソフトウェアです。J-Station は PC に装備 された MIDI ポートを通じて J-Edit と同期します。J-Station と J-Edit は常に同期しており、J-Edit で行った 変更はすぐに J-Station のサウンドに反映され、J-Station で行った変更もすぐに J-Edit に反映されます。

J-Editは、エディターとライブラリアンの二つの機能を持ち、驚くほど多様で優れたギターおよびベース用の サウンドを作成するために、J-Stationのすべてのパラメーターを容易にエディットすることを可能にしま す。そしてエディットしたサウンドはひとつのプリセットとしてPCのハードディスクに保存することができ ます。この時、プリセットに名称を付けたり、サウンドの特徴を記載しておく事も可能です。また、30のユー ザー・プリセットすべてをまとめてハードディスクに保存することも可能です。これらのサウンド・データは 無限に保存することができ、いつでもJ-Stationに戻すことができるため、気に入ったサウンドはJ-Station のメモリー制限を気にすることなくキープできます。また、友人のつくったサウンドやインターネット上に アップロードされているサウンド・データを利用することもできますし、自分のサウンドを他の人へあげるこ ともできます。

J-Edit は、J-Station の全てのパラメーターを理解しやすいレイアウトで表示します。そして、マウスやポッ プアップ・ウィンドウ、数値入力によって素早くサウンドをエディットすることができます。サウンドをエ ディットするウィンドウはエディット・ウィンドウと呼ばれ、エディット・ウィンドウは複数を同時に開いて おくことができます。最も手前のエディット・ウィンドウ(アクティブ・ウィンドウ)のセッティングがJ-Station に送られ、アクティブ・ウィンドウが変更されればJ-Station のサウンドもすぐに変更されます。した がって、ふたつのサウンドの比較などが容易に素早く行うことができます。エディット・ウィンドウを閉じる とそのサウンドは失われてしまいます。J-Edit は保存せずにウィンドウを閉じるとき、警告を発するので、サ ウンドに名前やコメントを付けて保存してください。

J-Edit にはパンク・ウィンドウと呼ばれるもうひとつのウィンドウが存在します。このパンク・ウィンドウに は J-Station のユーザー・パンク(30 プリセット)を一覧表示するウィンドウで、このウィンドウから呼び出 したいプリセットをマウスでクリックすることで J-Station がプリセット・チェンジを行います。

動作環境:

J-Editは以下の環境で動作します。

- 対応OS : Windows 95 / 98
- CPU : Pentium 166MHz以上
- メモリー : 16MB 以上
- ビデオ : 16bit
- MIDI : MIDI In および MIDI Out ポートを持つ MIDI インターフェイス

上記環境は最低必要環境です。

J-Edit のインストール:

● 付属の CD-ROM あるいはダウンロードしたファイルから JEdit.exe を実行します。



- 上記ダイアログが表示されたら SetUp をクリックします。ファイルの解凍が始まります。
- 解凍が終了すると自動的にインストーラーが起動します。



● Next をクリックします。



● ソフトウェアのインストール先を指定し、Nextをクリックします。



● スタート・メニューへの登録先を指定して Next をクリックすると、インストールが実行されます。



● J-Editの起動には再起動が必要になります。すぐに再起動するならばYesを選択し、後に再起動するならばNoを選択してFinishをクリックします。

MIDI 関連のセッティング:

J-Edit は PC 上で動作するソフトウェアです。J-Edit が動作する PC と J-Station は MIDI によって双方向通信 します。したがって使用する PC には、MIDI In ポートと MIDI Out ポートの両方を備えた MIDI インターフェ イスが必要になります。

PCとJ-Stationを接続する前に、J-Stationの**MIDI In or J8 Selector Switch**を**MIDI In** 側へ切り替えてください。J8 側で MIDI 機器へ接続すると、MIDI 機器を破損させるおそれがあります。

J-StationのMIDI InをPCのMIDI Outへ、J-StationのMIDI OutをPCのMIDI Inへ、それぞれ MIDIケー ブルを使用して接続し、全ての接続が終了したら各機器の電源をオンにします。

J-Editの起動:

[スタート] → [プログラム] → [Johnson Amplification] → [Johnson J-Edit] を選択すると J-Edit が起動 します。

J-Edit の起動時には、オート・ディテクト機能が自動的に作動し、PCと J-Station の接続を自動的に検出し、 接続が正しければ、J-Station のユーザー・メモリー・パンクのデータと現在のユーティリティー・セッティン グを PC に吸い取り、J-Edit のウィンドウにパンク・ウィンドウを表示させます。

オート・ディテクト機能によって一度MIDIセットアップが確立されると、2回目以降の起動にこの機能は作動 しません。しかし、MIDIインターフェイスが異なるものに交換された場合など、PCに保存されているセッティ ングと異なる環境を発見した場合には、再びオート・ディテクト機能が作動します。

もしも、オート・ディテクト機能によって正しい接続が検出できない場合には以下の表示が現れます。



OK をクリックして、MIDIの接続を確認してから、メニュー [MIDI] → [Resync with J-Station] を実行し て再同期を行ってください。それでも同期できない場合には、お持ちのシーケンサー・ソフトなどを起動し、J-Station ヘプログラム・チェンジ・メッセージを送信するなどして PC と J-Station が MIDI 接続されているかを 確認してください。

ファームウェア(システム・ソフトウェア)のアップデート:

もしも J-Station のバージョンが 1.4よりも古いものであれば、以下の警告が表示されます。これは現在の ファームウェアが J-Edit と完全な互換を持ったバージョンで無いために、ファームウェアのバージョンアッ プを促す表示です。



この警告が現れた場合には、J-Editインストール時に同時にインストールされる J-Updaterを使って、ファームウェア(ROMに書込まれたシステム・ソフトウェア)のパージョンアップを行う必要があります。J-Updaterには最新のファームウェアが付属していますので、以下の手順に従ってアップデートを行ってください。

● **OK**をクリックします。

J-Edit	×
1	The J-Station recieved an invalid procedure version. You may need to update the J-Station's firmware to use this feature.
	<u> </u>
いう―度警告/	が現れます。OK をクリックしてください。

- J-Edit には J-Station から吸い上げたユーザー・プリセット・バンクのプリセット一覧(ユーザー・バン ク・ウィンドウ)が表示されます。すでにオリジナルのサウンドを J-Station 内に保存している場合に は、[File]→[Save As]を実行して現在のユーザー・プリセットすべてをPCに保存してください。ファー ムウェアのアップデートを行うと全てのユーザー・メモリーが消去されてしまいます。
- [スタート] → [プログラム] → [Johnson Amplification] → [J-Updater] を選択すると、J-Updater が起動します。

🍐 New version update	r for the J-Station	×
Downloads the latest J-S	ôtation version	<u>H</u> elp <u>E</u> xit
	MIDI Input Device	MIDI Output Device
Select <u>V</u> ersion	USB MidiSport 2x2 Input B	USB MidiSport 2x2 Output B
New MIDI output device		

- MIDI Input Device および MIDI Output Device に正しい MIDI ポートが選択されていることを確認します。もしも不正なポートが選択されているのであれば、ポートが表示されているボックスをクリックし、表示されたりスト中から正しいポートを選択してください。
- Select Virsion をクリックします。

JUPDAT	ER	×
⚠	All of your saved presets will be lost. Have you saved your presets ?	
JI)	11(1) (いいえ(N) キャンセル	

- 現在のユーザー・プリセットが失われる旨の警告が出ます。Yesをクリックします。
- ファームウェア・ファイルを指定する表示が現れます。デフォールトのインストールでは、[マイコン ピューター] → [Cドライブ] → [Program Files] → [Johnson Amplification] → [J-Updater] フォ ルダ内にJs_14.h00 ファイルがあります。それを選択して開いてください。
- ファイルを開くと同時にファームウェアのアップデートが始まります。アップデート作業にはおよそ 3分程要します。アップデートが完了するとJ-Updaterウィンドウの下段に "Factory Reset All Done" と表示されます。
- J-Updater を終了します。
- J-Editを起動し、再同期します。もしも J-Editを再起動させていないのならば、[MIDI] → [ReResync with J-Station] を実行して再同期させてください。
- [File] → [Open] を選択し、先ほど保存したユーザー・プリセット・バンクを開きます。
- [File]→[Store Bank to J-Station]を実行して、先程保存したユーザー・プリセット・データをJ-Station へ戻します。
- 先程開いたユーザー・プリセット・バンク・ウィンドウを閉じます。

バンク・ウィンドウについて:

バンク・ウィンドウは 30 個のユーザー・プリセットを一覧表示するウィンドウです。バンク・ウィンドウでは 以下のことが可能です。

- ユーザー・プリセットの呼び出し(プリセット・ネームをシングル・クリック)
- ユーザー·プリセットのエディット·ウィンドウ起動(プリセット·ネームをダブル·クリック)
- ユーザー・プリセットのコピー&ペースト(右クリックメニューから実行)
- ユーザー・プリセットのエクスポート&インポート(右クリックメニューから実行)
- ユーザー・プリセットの順序変更(プリセット・ネームをドラッグ・アンド・ドロップ)
- 新規パンク(バーチャル・パンク)の作成([File] → [New Bank])
- バーチャル・バンクへのユーザー・プリセット・コピー(プリセット・ネームをバーチャル・バンク・ウィンドウへドラッグ・アンド・ドロップ)
- バンク管理(バンクの保存、バンク・ネーム / バンク・コメントの付加)

バンク・ウィンドウからのプリセット呼び出し:

ブラックの背景に、ホワイトのプリセット・ネームを表示しているのが、常にJ-Stationと同期しているユー ザー・パンク・ウィンドウです。このウィンドウ上でマウスをシングル・クリックすると、そのプリセット・ネー ムは強調表示にかわり、同時にJ-Stationのプリセットも変更されます。J-Stationの**Data Knob**ではプリセッ トの順送りしかできませんが、J-Edit では任意のプリセットをダイレクトに呼び出すことができます。また、 プリセット・ネームをマウスでダブル・クリックすることで、そのプリセットのエディット・ウィンドウを起動 し、サウンドのエディットが行えます(詳細は 11 ページ参照)。

😴 J-8	Station User Bank	_ 🗆	×
Loc.	Preset Name		
0-1	🎾 JCM900 with Hall		
0-2	🔗 Classic Blackface		
0-3	🎾 Boutique Delay 👘		
1-1	🌽 Mr Js Crunch		
1-2	<i>9</i> Wide Acoustic		
1-3	🔗 Rectifier March		
2-1	🍃 Rotary Tweed		
2-2	🖌 Voxy		
2-3	🌽 Thick Stack Solo		
3-1	🌽 Rockabilly		
3-2	🍃 Hiwatt with Delay		
3-3	🍃 Jazzy Twin		
4-1	🍃 Modern Bass		
4-2	<i>9</i> Envelope Bass		
4-3	🔗 Rock Bass Delay		
5-1	🄗 Mike's Tone		
5-2	🔗 Octa Slam		
5-3	🎾 Johnson Tremolo		-

E <u>d</u> it Preset	Ctrl+D
Store Preset to Bank	Ctrl+T
Export Preset	Ctrl+E
Import Preset	Ctrl+I
<u>C</u> opy	Ctrl+C
<u>P</u> aste	Ctrl+V
Bank Comm <u>e</u> nts Preset Co <u>m</u> ments <u>R</u> ename Preset	

バンク・ウィンドウの右クリック・オプション:

プリセット・ネームを右クリックすることで様々なオプションを起動できます。
Edit Preset: 右クリックしたプリセットのエディット・ウィンドウを起動します。
Store Preset to Bank: 右クリックしたプリセットをパンク・ウィンドウの任意の場所へ上書きします。
Export Preset: 現在のプリセットをファイルへ書き出します。
Import Preset: ファイルからプリセットを読み込みます。
Copy: 右クリックしたプリセットをクリップボードにコピーします。
Paste: 直前にコピーしたプリセットを右クリックした場所へペーストします。
Bank Comments: 現在のパンクに注釈(コメント、英語のみ)が入力できます。
Preset Comments: 右クリックしたプリセットに注釈(コメント、英語のみ)が入力できます。
Rename Preset: プリセット・ネームを変更できます。

バンク・ウィンドウでのプリセットの並べ替え:

プリセット・ネームをドラッグ・アンド・ドロップすることで、プリセットの配置を替えることができます。 プリセットをジャンルごとに整理したり、曲の進行に沿ったプログラム順に並べ替えることができます。

新規バンク(バーチャル・バンク)の作成:

[File] → [New Bank] を実行することによって、新しいパンクを制作することができます。新しく制作され たパンクは、バーチャル・パンク・ウィンドウと呼ばれ、ホワイトの背景にブラックのプリセット・ネーム表示 になります。

😴 J-	Station User Bank	_ 🗆 🛛	1000年1月1日	題	<u>- 🗆 ×</u>
Loc.	Preset Name		Loc.	Preset Name	▲ I
0-1	🎾 JCM900 with Hall		0-1	🎾 Default Preset 1	
0-2	🌽 Classic Blackface		0-2	🌽 Default Preset 2	
0-3	🌽 Boutique Delay		0-3	🌽 Default Preset 3	
1-1	🌽 Mr Js Crunch		1-1	🌽 Default Preset 4	
1-2	🌽 Wide Acoustic		1-2	🌽 Default Preset 5	
1-3	🌽 Rectifier March		1-3	🌽 Default Preset 6	
2-1	🌽 Rotary Tweed		2-1	🌽 Default Preset 7	
2-2	🎾 Voxy		2-2	🌽 Default Preset 8	
2-3	🌽 Thick Stack Solo		2-3	🌽 Default Preset 9	
3-1	🎾 Rockabilly		3-1	🖉 Default Preset 10	
3-2	🌽 Hiwatt with Delay		3-2	🌽 Default Preset 11	
3-3	🎾 Jazzy Twin		3-3	🌽 Default Preset 12	
4-1	🌽 Modern Bass		4-1	🌽 Default Preset 13	
4-2	🎾 Envelope Bass		4-2	🖉 Default Preset 14	
4-3	🎾 Rock Bass Delay		4-3	🖉 Default Preset 15	
5-1	🎾 Mike's Tone		5-1	🖉 Default Preset 16	
5-2	🎾 Octa Slam		5-2	🖉 Default Preset 17	
5-3	🎾 Johnson Tremolo	-	5-3	🖉 Default Preset 18	-

このバーチャル・パンク・ウィンドウは前記のユーザー・パンク・ウィンドウとは異なり、J-Station とユー ザー・パンク・データの同期を行いません。したがって、パーチャル・パンク・ウィンドウ上でいかなるプリセッ トを選択しても、J-Station のサウンドは選択されたプリセットの状態に変更されますが、J-Station のプリ セット・ナンバーは変更されません。

このバーチャル・バンクはサウンド・ライブラリーを制作する目的で設けられたオプションで、ジャンルごとにまとめたバンクを保存したり、1曲に使用したサウンドだけを集めて整理したり、J-Stationのメモリーに入りきらなくなったサウンドをキープするためなどに利用します。

バーチャル・バンクは後述する手順によって、PCのハードディスクに無限に保存することができ、いつでも自由に好みのパーチャル・バンクを J-Station のユーザー・バンク・メモリーに呼び戻すことができます。

バンク・ウィンドウ間のプリセット・コピー:

ユーザー・バンク・ウィンドウからバーチャル・バンク・ウィンドウヘプリセット・ネームをドラッグ・アンド・ ドロップすることで、プリセットをバーチャル・バンクヘコピーすることができます。この機能を使うことに よって、現在の J-Station のプリセットから好みのものを、バーチャル・バンクヘコピーできます。

もちろん、パーチャル・バンク・ウィンドウ間でも、ドラッグ・アンド・ドロップでプリセットをコピーできま す。また、バーチャル・バンク・ウィンドウのプリセットをダブル・クリックしてプリセットをエディットする ことで、J-Stationのユーザー・メモリーを一切変更することなくプリセットを制作できます。

バーチャル・バンクの保存:

ライブラリーとして完成したバーチャル・バンクは、バンク・ネームとバンク・コメント(英語のみ)を付加してハードディスクに保存することができます。保存したバーチャル・バンクはStore Bank to J-Stationを実行することで J-Station のユーザー・メモリーへ転送することができます。

- 保存したいバーチャル・バンク・ウィンドウをアクティブ(最前面)にします。
- [File] → [Save] もしくは [Save As] を選択します。
- バンク(ファイル)ネームおよびバンク・コメントを入力する画面が表示されます。
- 任意のバンク·ネーム、バンク・コメント(英語のみ)を入力し保存(Save)をクリックします。

バーチャル・バンクのオープンと J-Station への転送:

ハードディスクに保存されたバーチャル・バンクは、J-Edit でオープンすることで J-Station へ転送できるようになります。

- [File] → [Open] を選択します。
- J-Station へ転送したいパーチャル・パンク(ファイル)を選択し、**開く(Open)**をクリックします。
- 開いたバーチャル・バンク・ウィンドウがアクティブ(最前面)になっていることを確認します。
- [File] → [Store Bank to J-Station] を実行します。
- 選択したバーチャル・バンク・ウィンドウとユーザー・バンク・ウィンドウの内容が一致すれば、転送は 完了です。

エディット・ウィンドウ:

プリセット・エディット・ウィンドウの起動:

ユーザー・バンク・ウィンドウ、もしくはバーチャル・バンク・ウィンドウ上で、プリセット・ネームをダブル・ク リックすると、そのプリセットのエディット・ウィンドウが起動します。また、「File] → 「New Preset] を実 行することで、新規にプリセットを制作することが可能です。



エディット・ウィンドウの操作方法:

エディット・ウィンドウは、J-Stationのプリセットを構成する全てのパラメーターが整然とレイアウトされ たウィンドウです。このウィンドウで、マウスやキーボードを使ってセッティングを変更すれば、即座に J-Statioinのサウンドにもその設定変更が反映されます。つまりこの画面の設定=現在のサウンドになります。

エディット・ウィンドウに配置されてる各バーチャル・コントローラーを、マウスで操作することでプリセッ ト・セッティングを変更できます。

バーチャル・ボタンをクリックすると、エフェクトのオン/オフ等 がコントロールでき、アクティブなパラメーターはバーチャル・ボ タンのLEDが赤く強調されます。各エフェクトのオン/オフ状態、 および Effects セクションのプリ / ポスト・ポジションは最下段の シグナル・フロー・ダイアグラムに表示されます。エフェクトがア クティブであれば、そのエフェクトは赤文字で表示されます。

バーチャル・ノブのセンター・ポジション (グリーンの点) を、マウ スでクリックしたままノブの外周に沿って動かすと、本物のノブ を操作しているようにパラメーターが連続して変動します。また、 バーチャル・ノブ上の任意のポイントをクリックすることで、その 場所へセンター・ポジションが瞬間移動します。









アンプ・モデル等のタイプ・セレクト・パラメー ターは、そのパラメーター・フィールドをクリ ックすることで利用可能なパラメーターがリ スト・アップされます。マウスを移動させて任 意のタイプをもう一度クリックすることでタ イプが確定できます。

ディレイ・タイムのようなパラメーター・フィ ールドの右側に上下のボタンが用意されてい るものは、そのボタンを1クリックすることで 最小単位の増減、ホールドすることで連続変動 できます。







また、全ての操作はキーボードからでも可能です。Tab キーによってパラメーター・フィールドをひとつ先へ 移動させ、Shift + Tab キーによってひとつ前のフィールドへ戻ります。数値パラメーターはキーボードから 直接数値を入力できます。アンプ・モデルなどのタイプ・パラメーターは方向キーによって選択できます。

エディット・ウィンドウの右クリック・オプション:

エディット・ウインドウのバーチャル・コントローラー以外のエリアで右クリ ックすると、いくつかのオプションが実行できます。

S <u>t</u> ore to Bank <u>S</u> ave Save <u>A</u> s	Ctrl+T Ctrl+S
Comments	

Store to Bank:	プリセットをユーザー・バンク・ウィンドウあるいはバー
	チャル・パンク・ウィンドウの任意の場所へ上書きします。
Save:	プリセットをハードディスクに保存します。
Save As:	プリセットに別名を付けて保存します。

Comments: プリセットに注釈(コメント、英語のみ)を入力します。

プリセットの保存:

エディット・ウィンドウで制作したサウンドは、PCのハードディスク、あるいはJ-Stationに保存しない限り、 ウィンドウを閉じた瞬間に消去されてしまいます。J-Edit では保存されていないウィンドウを閉じる際に以 下の警告を表示します。

J-Edit				×
	Save chan	ges to JCM900 with	n Hall before closing?	
S <u>a</u> ve t	o Disk	S <u>t</u> ore to Bank	<u>D</u> iscard Changes	<u>C</u> ancel

Save to Disk をクリックすると、プリセットをハードディスクに保存します。この時、プリセット・ネームと プリセット・コメントが入力できます。

Store to Bankをクリックすると、バンク・ウィンドウの任意の場所にプリセットを上書きします。この時、上書きするバンク・ウィンドウとプリセット・ロケーションが選択でき、プリセット・ネームを変更することができます。

Discard Changes をクリックすると、プリセットを保存せずにウィンドウを閉じます。

Cancel をクリックすると、何もせずに元の状態に戻ります。

ツール・バー・アイコンの機能について:

メニューの下のツール・バー・アイコンをクリックすることで、J-EditおよびJ-Stationの使用頻度の高い操作が、マウス・クリックで実行できます。このツール・バーは [View] → [Toolbar] を選択し、チェック・マークを外すことでディスプレイから消すことができます。

新しいバーチャル・バンクを制作します。[File] → [New Bank] と同じ機能です。

- 新しいプリセットを制作します。[File] → [New Preset] と同じ機能です。
- õ

17

ファイル (保存したバーチャル・バンクあるいはプリセット)を開きます。[File] → [New Bank] と同じ機能です。

現 現在のバンクあるいはプリセットを保存します。[File]→[Save]と同じ機能です。



現在のプリセットをバンク・ウィンドウへ上書きします。[File] → [Store Preset to Bank] と 同じ機能です。



- 現在のバーチャル・バンクを J-Station へ転送します。[File] → [Store Bank to J-Station] と 同じ機能です。
- J-Stationのユーザー・バンクを現在のバーチャル・バンク・ウィンドウへ読み込みます。[File] →
 [Load Bank from J-Station] と同じ機能です。
- バンク・ウィンドウで選択したプリセットをクリップボードへコピーします。[Edit] → [Copy] と 同じ機能です。
- □ピーしたプリセットをバンク・ウィンドウの選択したロケーションへペーストします。[Edit]
 → [Paste] と同じ機能です。
- キャビネット・エミュレーションのオン / オフを設定します。[Utility] → [Global Cabinet Emulation] と同じ機能です。
- デジタル・アウトプットのドライ・トラック機能をオン / オフします。[Utility] → [Ditital Dry-Track] と同じ機能です。
- デジタル・アウトプットのレベル・ブーストを設定します。[Utility] → [Adjust Digital Boost] と 同じ機能です。
- アウトプット・モードのステレオ/モノラルを設定します。[Utility] → [Stereo Output]、[Utility]
 → [Mono Output] と同じ機能です。
- J-StationのMIDIループ・バック機能のオン/オフを設定します。[Utility] → [MIDI Merge] と
 同じ機能です。
- J-Station と J-Edit の再同期を行います。[MIDI] → [Resync with J-Station] と同じ機能です。

● PCの MIDI 設定を手動で行います。[MIDI] → [Settings] と同じ機能です。

ステイタス・バーの機能について:

J-Edit の最下段に表示されるステイタス・バーには、J-Edit の現在の状態が表示されます。代表的なステイタ スには、MIDIポートの状態、J-Stationとの同期状態、メニューやアイコンの機能補足などがあります。ステ イタス・バーは [View] → [Status Ber] を選択し、チェック・マークを外すことでディスプレイから消すこと ができます。

File メニュー:

<u>F</u> ile	<u>E</u> dit	<u>V</u> iew	<u>U</u> tility	<u>M</u> IDI	<u>W</u> indow
Nev	w <u>B</u> ank				Ctrl+B
Nev	∾ <u>P</u> rese	et			Ctrl+P
Ope	en				Ctrl+O
<u>C</u> lo	se				
<u>L</u> oa Sto	Load Bank from J Station Sto <u>r</u> e Bank to J Station				
S <u>t</u> o	re Pres	et to B	ank		Ctrl+T
<u>S</u> av	/e				Ctrl+S
Sav	/e <u>A</u> s				
Coj	<u>n</u> ments	:			
<u>1</u> J	-Statio	n User	Bank Ba	ckup4	
2 J	-Statio	n User	Bank Ba	ckup3	
<u>3</u> J	-Statio	n User	Bank Ba	ckup2	
<u>4</u> J	-Statio	n User	Bank Ba	ckup1	
Exi	t				

New Bank

新しいバーチャル・バンク・ウィンドウを制作しま す。バーチャル・バンクは30のユーザー・プリセッ トをまとめて管理するためのもので、J-Stationの プリセットをジャンル分けしたり、曲の進行に合 わせてプリセットを並べたりしたものをPCの ハードディスクに保存することができます。

New Preset

新しいプリセットを制作します。J-Station上では 現存するプリセットの変更しかできませんが、J-Edit では白紙状態からプリセットが制作できます。

Open

PCのハードディスクに保存された、プリセット、 およびバンクのファイルを開きます。

Close

アクティブ(最前面)ウィンドウを閉じます。

Load Bank from J-Station

J-Station のメモリーから全てのユーザー・プリ セットを、現在アクティブなパーチャル・パンク・ ウィンドウへ取り込みます。

Store Bank to J-Station

現在アクティブなバーチャル・バンク・ウィンドウ のプリセット全てを、J-Stationへ転送します。

Store Preset to Bank

現在アクティブなプリセットをパンク・ウィンドウ の任意のロケーションへ上書きします。

Save

現在アクティブなプリセット、あるいはバンクを PCのハードディスクに保存します。名前と注釈を 付加することができます。

Save As

現在アクティブなプリセット、あるいはバンクを 別名あるいは別ディレクトリに保存します。名前 と注釈を付加することができます。

Comments

現在アクティブなプリセット、あるいはバンクに 注釈を入力します(英語のみ)。

Recent Files

最近開いたファイルを最大4つ表示します。

Exit

J-Edit を終了します。

Editメニュー:

<u>E</u>dit <u>V</u>iew <u>U</u>tility <u>C</u>opy Ctrl+C <u>P</u>aste Ctrl+V

Copy

バンク・ウィンドウで選択したプリセットをクリッ プ・ボードへコピーします

Paste

クリップ·ボードのプリセットをバンク·ウィンド ウの任意のロケーションへペーストします。 View × ニュー:

<u>V</u> iew	<u>U</u> tility	1
✓ <u>T</u> oolbar		
<u>∽ S</u> tatus Bar		

Toolbar

ツールバーの表示 / 非表示を設定します。

Status Bar

ステイタス・バーの表示 / 非表示を設定します。

Utility × ニュー:



Global Cabinet Emulation

キャビネット·エミュレーターのオン/オフを設定 します。チェックが付いているときがオンです。

Digital Dry-Track

J-Station のデジタル・アウトプット・オプション を設定します。チェックが付いていなければノー マル、チェックが付いていればノイズゲート以降 のエフェクト音をデジタル・アウトプットから出 力しません。

Adjust Digital Boost

J-Stationからのデジタル・アウトプットがレベル 不足場合、デジタル・アウトプットをブーストす ることができます。

Stereo Output

J-Stationをステレオ・アウトプットで使用する場 合はこのメニューを選択します。

Mono Output

J-Stationをモノラル・アウトプットで使用する場 合はこのメニューを選択します。

MIDI Merge

J-StationのMIDI ループ・バック機能のオン/オフ を設定します。チェックが付いていればオンです。 この機能がオンになると、MIDIインからのシグナ ルを MIDI アウトへ送信します。MIDI 機器のセッ ティングによっては MIDI シグナルのオーバーフ ローが起こり制御不能になる場合があります。必要 なときのみオンにするように心がけてください。

MIDIメニュー:

<u>M</u> IDI	<u>W</u> indow	<u>H</u> elp	
<u>R</u> esy	ync with J	J-Station	
<u>S</u> ett	ings		

Resync with J-Station

J-StationとJ-Editを再同期させ、J-Stationのメ モリーとJ-Editのユーザー・パンク・ウィンドウの 内容を一致させます。

Setthing

PCのMIDI設定を変更できます。正常に動作して いれば設定変更はしないでください。正常に動作 しない場合、ポートの設定等を変更してください。

Auto Detect Feature

メニューには表示されませんが、J-Edit起動時に、 MIDIに関連する設定が前回と異なる場合、この機 能が自動的に作動して最適な MIDI 設定を探し出 します。

Window メニュー:

<u>W</u>indow <u>H</u>elp

Tile <u>H</u>orizontally

Tile <u>V</u>ertically

✓ 1 J-Station User Bank*

Tile Horizontally

現在開いているウィンドウ全てを上下に均等配 置します。

Tile Vertically

現在開いているウィンドウ全てを左右に均等配 置します。

Opened Window

現在開いている全てのウィンドウ・ネームを表示 し、さらに現在アクティブなウィンドウにチェッ ク・マークが付きます。

<u>H</u> elp	
<u>H</u> elp Topics	
<u>A</u> bout JEdit	

Help Topics

オンライン・ヘルプ(英語)を開きます。

About J-Edit

J-Editのバージョン情報などが表示されます。

Bank Window Context Menu:

バンク・ウィンドウのプリセット・ネーム上でマウ スを右クリックすると現れるメニューです。

E <u>d</u> it Preset	Ctrl+D	
S <u>t</u> ore Preset to Bank	Ctrl+T	
<u>E</u> xport Preset	Ctrl+E	
<u>I</u> mport Preset	Ctrl+I	
<u>C</u> opy	Ctrl+C	
<u>P</u> aste	Ctrl+V	
Bank Comm <u>e</u> nts Preset Co <u>m</u> ments <u>R</u> ename Preset		

Edit Preset

クリックしたプリセットのエディット・ウィンド ウを開きます。

Store Preset to Bank

クリックしたプリセットを現在のバンク・ウィン ドウあるいは他のバンク・ウィンドウの任意のロ ケーションへ上書きします。他のバンクへ保存し たいのであれば、あらかじめそのバンクを J-Edit 上に開いておく必要があります。

Export Preset

クリックしたプリセットをファイルに書き出し ます。名前と注釈が付加できます。

Import Preset

ファイルからプリセットを読み込み、クリックし たロケーションに上書きします。 読み込むファイルは下図左のアイコンを持った ファイルを選択してください。下図右のアイコン はパンク・データの保存されたファイルです。



Сору

クリックされたプリセットをクリップボードに コピーします。

Pasete

クリップボードのプリセットをクリックしたロ ケーションにペーストします。

Bank Comments

現在のバンクに注釈(英語のみ)を入力します。

Preset Comments

プリセットに注釈(英語のみ)を入力します。

Rename Preset

クリックしたプリセットの名前を変更します。

Edit Window Context Menu

エディット・ウィンドウのバーチャル・コントロー ラー以外の場所でクリックすると現れるメ ニューです。

> S<u>t</u>ore to Bank.... CtrI+T Save CtrI+S Save <u>A</u>s... Comments...

Store to Bank

現在のプリセットを任意のバンク・ウィンドウの 任意のロケーションに上書きします。

Save

現在のプリセットを保存します。

Save As

現在のプリセットに別名を付けて保存します。

Comments

現在のプリセットに注釈(英語のみ)を入力します。

その他:

J-Station 側からの操作に関して (? の付いたアイコン):

J-Station と J-Edit は常に双方向通信しているため、J-Edit で操作すれば J-Station のセッティングも同時に 変わり、逆に J-Station で操作をすれば J-Edit のエディット・ウィンドウ・セッティングも変わります。

しかし、唯一の例外があり、それは現在のセッティングを J-Staison 側で保存した場合に起こります。

これは J-Station 上での保存操作だけが、双方向通信に対応していないために起きる症状で、一時的に J-Station の特定のプリセット情報だけが、J-Edit あるいはハードディスク内にバックアップされていないことを意味します。このような状況が発生した場合 J-Edit はユーザー・パンク・ウィンドウのバック

アップの存在しないプリセットに対して、右図のアイコンを表示し、ユーザーに警告を与えます。

このアイコンは、以下の操作を実行すれば、J-Editあるいはハードディスク内にバックアップを 作成することができるため、通常のアイコンに戻すことができます。



- ユーザー・バンク・ウィンドウから警告アイコンの付いているプリセットを右クリックして [Store Preset to Bank] を実行し、問題のプリセットをユーザー・バンク・ウィンドウに上書きする。
- ユーザー・バンク・ウィンドウから警告アイコンの付いているプリセットを右クリックして [Export Preset] を実行し、問題のプリセットをハードディスクに保存する。

オフライン・エディット:

J-EditはJ-Stationを接続しなくても利用可能です。もちろん、サウンドを出すことはできませんから、プリ セット・エディットは現実的ではありません。しかしながら、バーチャル・バンク・ウィンドウにおけるライブ ラリーの整理には有効活用できることでしょう。

シグナル・フロー・ダイアグラム:

エディット・ウィンドウの最下段には J-Station の信号経路を示した、シグナル・フロー・ダイアグラムが表示 されます。これは、現在のプリセットにおいて、使用されているエフェクトの明示、エフェクト・セクション の配置場所をグラフィック表示します。

下図において、アクティブなエフェクトは赤文字、バイパスされているエフェクトは白文字で表示されています。 これらの文字をクリックするとオン/オフを切り替えることができます。ただし、アンプ・モデルはバイパ スさせることができず、キャビネット・エミュレーターはメニューもしくはツールバー上でしか制御できません。



下図はエフェクト・セクションをプリ・ポジションにした場合です。上図と異なりエフェクト・セクションがアンプ・モデルの前に移動していることに注目してください。

$$\begin{array}{c} & & & \\ & & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & &$$

また、デジタル・アウトプットのドライ・トラックを有効にした場合、Gate以降のエフェクト音をデジタル・アウトプットから出力しなくなります。アナログ・アウトプットからは全てを通過したサウンドが出力されます。

オプション・フットコントローラー "J-8"のセッティングについて:

オプション・フットコントローラ"J-8"は、J-Edit 利用中には接続 ポートを J-Edit に占有されてしまうため使用することができません。そのため"J-8"のエクスプレッション・ペダルに関るセッティ ングを実際に試すことはできません。

そこでJ-Editでは、"J-8"のエクスプレッション・ペダルと同等の状態を再現できるバーチャル・コントローラーをエディット・ウィンドウに配置しています。右図はエディット・ウィンドウ内のエクスプレッション・セクションです。



最上段の数値およびスライダーはエクスプレッション・ペダルの開閉をコントロールします。スライダーをマウスで左右に動かすことで、エクスプレッション・ペダルの前後運動を再現します。

中段の4つのナンバー・フィールドは、ペダル開閉時の上限値/下限値の設定です。それぞれ上段が上限値の 設定、下段が下限値の設定フィールドです。そして右側が通常のパラメーター・コントロール用、左側がワウ 専用となっています。

最下段左のバーチャル・スイッチはワウのオン/オフ・スイッチです。マウスでクリックする度にオン/オフが 切り替わり、赤く強調されている状態がワウ・オン(この時通常のエクスプレッション・コントロールはできま せん)です。

最下段右のタイプ・セレクト・フィールドは、エクスプレッション・ペダルで制御するパラメーターを選択する フィールドです。

MIDI 環境の手動設定について:

J-Edit にはオート・ディテクト機能が組み込まれているため、J-Edit 起動時に、自動的に最適な MIDI セット アップを行いますが、PC に複数の MIDI ポートが存在している場合、必ずしもユーザーが意図したポートを 選択してくれとは限りません。このような状況の場合にユーザーは、手動で MIDI 環境の設定を変えることが できます。

● [MIDI] → [Setting] を実行します。J-Edit は以下のウィンドウを表示します。

MIDI Settings		×
MIDI <u>I</u> n port:	USB MidiSport 2x2 Input A	OK
MIDI <u>O</u> ut port:	USB MidiSport 2x2 Output A	Cancel
MIDI channel:	1 SysEx device ID: 1	
	<u>A</u> uto Configure	

MIDI In Port: 現在利用可能な MIDI インプット・ポートがプルダウン・メニューで表示されます。
 MIDI Out Port: 現在利用可能な MIDI アウトプット・ポートがプルダウン・メニューで表示されます。
 希望するポートを選択してください。

● MIDI Channel: 現在 J-Station と通信を行っている MIDI チャンネルが表示されます。

SysEx Device ID: システム・エクスクルーシブ・メッセージ専用のID ナンバーです。

J-Stationと通信を行うための重要な項目です。J-Stationのユーティリティー・メニュー→ MIDI チャン ネルで設定したチャンネル・ナンバーと同一のナンバーを、MIDI Channel と SysEx Device ID の両方に 設定します。J-Edit では MIDI Channel と SysEx Device ID に異なるナンバーが入力された場合、J-Station との通信が不能になります。

● Auto Configure: 現在最適と思われる MIDIポートを自動設定します。これはポート検出だけを行う機能で、MIDIチャンネルの自動検出を行う機能は組み込まれていません。MIDIチャンネルに関る設定は、すべて J-Station の設定に準じて手動で行ってください。

最新情報の取得:

http://www.johnson-amp.com

Johnson J-Station および J-Edit に関連する最新情報が公開されています(英語)。 最新版の J-Edit や J-Station のファームウェア(英語版)はここから入手できます。

このサイトに公開されている情報に関して、弊社ではお答えできない項目もあります。 あらかじめご了承ください。

http://www.fernandes.co.jp

www.johnson-amp.comにて公開された情報の内、日本語環境で動作が確認できたソフトウェア情報、弊社 にて解答のできるハードウェア情報、日本語化されたマニュアル情報等を公開します。

お問い合わせ先:

株式会社フェルナンデス 輸入機器事業部 〒 161-0033 東京都新宿区下落 2-14-26 TEL & FAX: 03-3950-8013 (月一金 午前 10:00~午後 6:00) E-mail: support@fernandes.co.jp



